

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62
JIROZAEMON ITO
MATSUZAKAYA DEPT STORE
MINAMIOTSU-DORI, NAKA-KU, NAGOYA, JAPAN

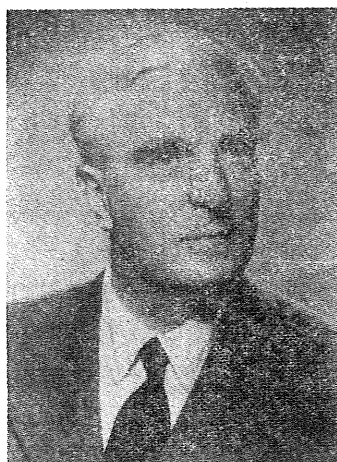


NO. 12. (APR. 15, 1956)

第十二信 (昭和31年4月15日)

第六十二区ロータリークラブ 会長並ニ幹事殿

御参考



国際ロータリー 第26区ガバナー

伊藤 次郎 氏宛

- R.I.会長候補ジャン・パオロ・ラング氏
(Mr. Gian Paolo Lang declared as President Nominee of R.I. 1956~57)

2月の月信で御紹介しました次年度国際ロータリー会長は、規定に依る3月15日迄に何れのロータリークラブからも候補者の推薦がR.I.本部へ提出されませんでしたので、ベーカー会長はイタリア・リボルノのGian Paolo Lang氏を1956~57年度国際ロータリー会長ノミニーと決定した旨、ミーンズ事務総長より通知がありました。同氏は来る6月3日から7日迄開催されるフィラデルフィア国際大会で正式に選挙されます。

- R.I.理事会決定事項 (Midyear Meeting of R.I. Board of Directors)

本年1月23日より28日迄エバンストン本部で開催された国際ロータリー理事会には病氣

欠席のベルギーのAlphonse Fievez氏を除き7ヶ国から13名の理事が出席の上、実に多数の議事が審議されました。その詳細報告はSecretary Letter No.7 (2月6日附)に紹介されておりますが、其の重要な点のみを別紙に転載いたしましたから、御承知願います。

- 次年度地区大会の日程 (Schedule of the District Conference 1956~57)

第62区年次大会は横浜に於て次の通りの日程で開催される予定です。

昭和31年10月13日 (土)

午前10時より 程ヶ谷カントリークラブに於てゴルフ試合

午後5時より 前夜懇談会

10月14日 (日) : 大会第一日
(午前10時ヨリ)

10月15日 (月) : 大会第二日 (〃)

DEVELOP OUR RESOURCES OUR AIMS for 1955-56

観光に出発（夕方ヨリ）

10月16日（火）：観光

ホスト担当の横浜R.C.では昨年未既に年次大会準備委員会を結成し、着々準備活動が続けておられます。尚他地区の年次大会日程は下記の通りです。

第60区大会 於仙台市（伊藤次期ガバナー
主宰）

10月6日（土）～8日（月）

第63区大会 於大阪市（今村次期ガバナー
主宰）

10月9日（土）～21日（月）

第64区大会 於長崎市（黒川次期ガバナー
主宰）

10月24日（木）～26日（月）

**○ 清水・横須賀に於けるインターシテイ
・フオラム（Intercity Forum at Shimi-
zu & Yokosuka）**

去る3月13日は新発足した許りの伊東R.C.を含め静岡県下6クラブ（横須賀R.C.オブザーバー参加）から70名、3月30日は神奈川県下6クラブ（甲府R.C.参加を含む）から60名の出席を得て有意義なインターシテイ・フオラムを開催することが出来ました。ホストクラブの清水R.C.並に横須賀R.C.の御世話と柳瀬フオラム・リーダーの度々の御指導に対し厚く感謝申し上げます。

横須賀に於けるインターシテイ・フオラムでは、**フランク・スペイン基金の使途**に関しインターシテイ・フオラム開催の県ブロック別に懸賞論文を募集し表彰する基本方針が提案されました。之に就ては岐阜R.C.からも金沢大会提出の原案が報告されて参りましたので、地区協議会の席上で審議の上最終的に決定致します。別紙「R.I.理事会審議事項」に両案の骨子を附記致しましたから御参照下さい。

○ クラブフオラムと炉辺会談

（Club Forum & Fireside Meeting）

クラブフオラムの開催に関しては小林カウンセラーの御奨励（昨年9月のOne-day Institute）があり、小生からもガバナー月信（No. 8—P.3, No.10—P.2, No.11—P.6）等を通じて屢々御要請申し上げましたが、最近次の各クラブはフオラム・リーダーを特にクラブ外の方に御願して成果を挙げられました。

名古屋R.C. 3月10日 伊藤ガバナー列席
豊橋R.C. 3月23日 小林カウンセラー
のリーダー

熱海R.C. 3月24日 柏原孫左衛門氏の
リーダー

又炉辺会談は**熱海R.C.**が熱心にやつておられますが、最近**岡崎R.C.**から詳細の御報告を頂きましたのでクラブローカル活動の好例として原文の儘（会報委員長 松井弘氏書簡）御紹介申し上げます。

第1回（昨年10月20日）

午後5時より内藤会長宅にて開会。

最初の事として理事及び委員長の参集を望んだに対し全員出席された。会長が家を新築されて間もない時だったので、それのお祝いの意もふくめて、木の香新しい室には歓談が満ちあふれた。62地区金沢大会に出席した会員の報告が主となつた。此の報告は例会でも行われたが、短時間では伝えるに不足するが炉辺会談は詳細に亙つたので、当日の雰囲気をも再現するに十分の効果があつた。

例会では話し合う時間が少ないし顔をチラリと見る位にとどまるが、此の会では気兼ねなく自由に何から何まで相当の時間話すので、親しみが生じ、深味もあり、和やかでもあつた。終了したのは九時半。

第2回（11月11日）

ロータリー情報委員主宰で開会、委員長岡田庄松氏宅で催した。参集者は右委員と新入会員数名で、主としてロータリーに関する

る説明の会となつた。先輩を中心に「ロータリー教育」とした観があり、此の点有効であつた。約2時間で終了。

入会しても文献等で勉強していたのが、此の会で何かと話し、質問し、ロータリーの事がよく分つたと好評であつた。今後度々開く事とし、其の為め簡素を旨とする様にとて、開会は夕食後、茶菓程度とする事を申合せた。

第3回（1月14日）

午後1時、親睦委員長内田氏の企画により「囲碁の会」を催した。これは炉辺会談を「趣味によるグループ」とする一環で、学大クラブの一室に同好会員10名参集、うろを戦はせ、杉本氏優賞。賞品等の関係もあり、会費500円とした。

第4回（2月6日）

午後1時、これも内田氏の主唱で会員の夫人方の参集を得て催した。会場は春谷寺と云う尼寺。公式の会ではないが、家族会等を催す場合に参画して頂きプランを樹てたりする上に於て、お話相手になつて貰い盛大に行うようにとする心持ちもあつての会であつたが、夫人方の文字通り点茶の炉辺会談となり、床しい会となつた。ロータリアンの夫人として何かと語り合ううちに、啓発される幾多のものがあつた、来会の方から喜んで貰つた。参集12名。

第5回（2月14日）

午後5時半より会場は学芸大学職員寮。参集者は最寄りの有志と云う事とした。別に提出案もなく、会員思い思ひの発言となつたが、自然的に一つ一つ問題が出て、自由に遠慮なく話し、聞き、論じ笑い、具体的項目を数えると17に亘つた。何れもロータリーの事、身近な当面の問題であつたが、故志賀重昂氏が市へ寄附した南北亭（世界の珍材を以て作られた）が荒れているのに対し、修理の声が出ているのを援助の件。南極探検隊長永田氏は岡崎ゆかりの

人であり、会員内田氏の縁者でもあるので、此の壮挙に声援するの件。内藤会長発案の標語『皆んなで住みよい岡崎』と題する5項目の発表から、更に蚊と蠅をなくする運動を加えようとの意見も出るなどいろいろの事を記録にとめて、関係委員会へ伝えることとし、仲々積極的であつた。ロータリー関係外の話もはずんで『味噌漬の話』、『競馬の話』、『どぶろくの話』など随筆的のまとなつたこくのある話もあつた。終つて軽い食事を摂つたが、会員各々持ち味を発揮し、楽しい会であつた。

炉辺会談の功德は

- (1) 友情を深める (2) 智識が得られる
 - (3) 視野が広がる (4) 時々爆笑する
 - (5) 健康になる (6) 人生が明るくなる
 - (7) 生き甲斐を感じる —以上
- 尙 Forums on Club Level に関する参考文献として

“Mr. President's Book” 日本語版5頁のクラブ内研究討論会及び “Forums on Club Level-Manual for Leader-Club Service, Pamphlet No. 240”

があります。

○ 事務総長ミーンズの書簡より

(From Secretary's Letter, No. 8)

「歓迎の祝詞」(WORDS OF WELCOME)と題し次の様な逸話が紹介されております。今から30年前2月22日のロータリー創立記念日に、米国の或ロータリアンが日本の新会員宛にロータリー入会を祝して挨拶状を出されました。之は外国の新会員・新クラブに出された手紙の一です。3年後(1929)のダラスの国際大会にこの日本人は出席して手紙の送り主に親しく会うことが出来ました。爾来彼は12年半の長きに亘り100%の出席を維持し続けました。やがて日本は戦争に突入、しばらくロータリー活動を中絶するの已むなきに到りました。戦後(1949)再び日本がR.I.に復

帰することになりましたが、彼は当時病気の為再発足のR.C.メンバーに生憎く加はることが出来ませんでした。然し彼はロータリーに対する情熱を持ち続け、又歴代のR.C.幹事も彼と連絡を保ち激励することを忘れませんでした。昨年7月彼は健康を回復して正式にR.C.の一員となる日が来ました。新会員となった彼は勿論双手を挙げて歓迎されましたが、彼を迎えたクラブメンバーの仲間は凡んど新顔許りで一寸淋しい気がしました。所がこの「新入会員」が英文「ロータリアン」誌を久し振りでひもどいた所、図らずも彼の入会を祝福した懐しい手紙の贈り主の写真を発見しました。

彼は昔のロータリアン時代を回想して早速筆をとり、このささやかな感激の一こまを手紙に托して寄越されたのであります。この日本のロータリアンにとつては1926年にうけた「歓迎の祝詞」は今日も尙貴重な家宝として彼の心に大切に保管されていることでしょう。

○ 戸田ガバナー・ノミニーの渡米予定 (Itinerary of Governor Nominee Toda)

戸田直温君はガバナー・ノミニーとして次のスケジュールで渡米される予定です。

5月20日(日) 19時20分 羽田空港発
5月21～23日 シカゴ滞在
5月24～31日 国際協議会出席 (Lake Placid)
6月1～7日 規定審議会・年次国際大会出席 (Philadelphia)
6月8～16日 ワシントン、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ホノルル
6月18日(月) 9時半 羽田空港着

○ 吉村俊男君の留学先 (Rotary Fellow Yoshimura)

ロータリー奨学生吉村君の留学先は、本人の第一志望であるニューヨーク州「コーネル

大学」より3月15日付を以て正式の入学許可が参りました。9月17日から始まる学期に参加する為(経済学部 Master of Science の課程)目下渡米手続中とのことです。

現住所： 横浜市金沢区六浦町4834
白山源三郎方

CORNELL UNIVERSITY: 125 Edmund
Ezra Day Hall Ithaca,
New York, U.S.A

○ 各クラブに於ける変更御通知 (Change of Office, Meeting Place & Date)

最近次の各クラブが例会場・例会日・事務所の変更をされました。

金 沢 R.C.……例会場を西町「県繊維会館」に

小田原 R.C.……例会日を毎週月曜日に

魚 津 R.C.……事務所を「富山県魚津市大町114番地 魚津商工会議所内」に

横須賀 R.C.……例会場を「さいかやデパート」4階に

○ ロータリー財団奨学資金寄附 (Contribution to the Rotary Foundation)

R. C.	拠 金 額	追加分	@ 10弗
四日市	¥36,000	10人分	¥3,600
横 浜	18,000	5人分	〃
上 野	〃	〃	〃
岐 阜	7,200	2人分	〃
津	〃	〃	〃
横須賀	15,120	全員42名	@ 1 弗

御協力有り難うございました。

○ ロータリー情報委員会の為のR.I.資料
(Pamphlets No.237— “STEPS”)

新入会員に対し各クラブ毎に詮衡し、選挙し、紹介し、教育し、同化するという各段階がありますが、之に関し非常に興味あるパンフレットがR.I.本部から送附されて参りました。

“STEPS in the Selection, Election, Introduction, Education and Assimilation of a New Member of a R.C.”

と題するクラブサービス・ロータリー情報委員の参考資料です。或るクラブに於けるジョージという人物が新入会員として如何に遇され、ロータリアンとなつてゆくかという具体的経過を、日附順に日誌風に紹介した言はば

モデルケースとも称すべきクラブの記録であります。

尙3月29日附を以てバトソン部長から各クラブ宛、本年7月に始まる新年度のクラブ役員に引継ぐべき文献を補充する為に申込書 (ORDER FORM for Club Supplies, 1956 ~57) が送附されてある筈です。既に御発註済の事とは存じますが、未だでしたら至急手続をとられる様、念の為申し添えます。

(附記)

第62区ロータリークラブ一覧表、新会長及新幹事紹介名簿を同封いたしました。

誤りがありましたら訂正の必要上ガバナー事務所まで御連絡願います。

第62区1956年3月分出席率表

今月 順位	クラブ名	例会数	会員数	対期初 増 減	出席率
1	横 須 賀	5	42	+ 2	100%
2	高 岡	5	35	+ 2	100
3	津 島	5	27	+ 4	100
4	川 崎	5	43	+ 1	99.5
5	一 宮	5	33	=	99.4
6	岡 崎	3	36	+ 1	99.1
7	藤 沢	4	27	+ 2	98.8
8	横 浜 東	5	30	+ 3	98.0
9	豊 橋	5	44	+ 1	97.7
10	沼 津	5	49	+ 2	97.6
11	熱 海	5	25	+ 3	96.8
12	富 山	4	45	+ 2	96.7
13	松 阪	3	38	+ 4	95.6
14	浜 松	4	45	+ 2	95.6
15	蒲 郡	5	25	+ 2	95.2
16	伊 勢	4	30	- 3	95.0
17	岐 阜	5	46	+ 1	93.5
18	津	5	27	+ 3	92.9
19	礪 波	4	28	+28	92.9
20	四 日 市	5	52	+ 9	92.7
.....平均出席率.....					91.85

今月 順位	クラブ名	例会数	会員数	対期初 増 減	出席率
21	刈 谷	4	27	- 1	91.7
22	清 水	4	36	- 2	91.4
23	甲 府	4	38	+ 6	91.4
24	名 古 屋	4	115	+ 5	91.0
25	名古屋西	5	49	+ 5	90.8
26	横 浜	4	88	+ 7	90.6
27	小 田 原	4	31	=	90.3
28	上 野	4	35	+ 5	90.0
29	大 垣	3	36	+ 3	89.8
30	静 岡	4	47	+ 2	89.0
31	金 沢	3	69	+11	88.9
32	桑 名	4	36	+ 3	88.9
33	伊 東	4	24	+24	88.5
34	半 田	5	30	- 1	87.3
35	七 尾	4	21	+21	84.5
36	吉 原	5	28	+ 4	84.0
37	尾 西	4	20	+20	83.8
38	魚 津	5	21	+ 1	80.2
39	高 山	5	28	+28	75.6
40	小 松	5	36	+36	69.4
合 計		—	1,552	246	91.85%

DEVELOP OUR RESOURCES OUR AIMS for 1955-56

